

# 情報クリップ

## 農業情報ピックアップ

### 7/24 農水省 農産物の輸出支援強化へ

農林水産省は国産の農林水産物の輸出支援を強化する方針を固めた。省内に輸出関連情報を一元化した産地支援の窓口を新設するほか、産地が海外で物産展などを開催する経費の一部を助成する方向で、来年度予算の概算要求に盛り込む。国内産地は海外からの安い輸入農産物に苦戦を強いられているが、輸出促進で「攻め」の経営を促すのが狙いだ。農林水産物貿易は大幅な輸入超過。価格競争力がないのが要因だが、最近では台湾や中国のWTO加盟や経済成長で、青森県のリンゴや鳥取県の二十世紀ナシなど高品質の日本産が富裕層に評価されている。(毎日)

### 国際関係

7/13 カナダ産牛輸入再開は困難  
カナダを訪問中の亀井農水相は、オタワ市内でバンクリーフ農相と会談した。

同農相が5月にカナダでBSE感染牛が確認されて以来、カナダ産牛の輸入を禁止している日本に早期の輸入再開を強く要請したのに対し、亀井農水相は感染原因などがまだ特定されていないことを理由に「今輸入を再開することは非常に難しい」との考えを伝えた。(時事)

### 7/16 リンゴ検疫で上訴へ

農水省は、WTOの紛争処理小委員会が日本のリンゴ検疫を協定違反と判断したことを受け、上級委員会に上訴する方針を明らかにした。

8月下旬に開かれるWTOの紛争解決機関会合までに、上訴を正式に決める。

上訴した場合は、その後90日以内に上級審の判断が示される。上訴を見送るか、上級審で敗訴した場合には、検疫基準の改正などを迫られることになる。

(共同)

### 7/23 ラベル表示条件にGM産品の流通認め

EUの農相理事会は、遺伝子組み換え(GM)技術を使ったすべての食品、飼料について、安全性確認などの許可を取り、ラベルで表示すれば、流通を認める法案を承認した。来年初めにも発効する。

GM産品に批判的なEUは、これまで食品としてトウモロコシ、大豆各1品目だけしか認めていなかったが、今回の措置で、多くのGM産品の流通に道が開けたことになる。(毎日)

### 7/29 牛肉セーフガード正式決定

農水省は、輸入牛肉(生鮮・冷蔵)の関税を引き上げるセーフガードを、8月1日から発動すると正式に発表した。財務省が同日発表した貿易統計で、4~6月期の輸入量が基準を超えたため。来年3月末まで関税率が通常の38.5%から50%になる。業界によると、大半の外食や小売店は値段を据え置くが、一部では薄切り肉100gあたり10円程度の値上げが出ると試算されている。農水省は便乗値上げ防止など価格監視をする。ただ、主にファストフードなどで使われる冷凍牛肉の輸入は発動基準を超しておらず、今回は対象外になる。(朝日)

7/31 中国が初の国家備蓄大豆放出  
新華社電によると、中国は国家備蓄大豆50万tを大連の北方食糧取引市場で公開競売によって売却した。同大豆を放出し、市場の調整を図るのは初めて。競売は国務院の認可を受け、国家食糧局などの委託を受けて行われた。近年、中国では大豆がかなり不足している。国内の年産量が1,500万t前後、年間消費量が3,000万t前後だが、加工企業の年間加工能力が5,000万tを超える可能性がある。今年上半年期、中国の大豆輸入は1,000万t余りに達した。(共同)

### 低温・日照不足

#### 7/25 水稲5年ぶりの不作か

農林水産省は、03年産米(水稲)の7月15日現在の生育情報を発表したが、東北地方の太平洋側を中心として、6月に入ってから低温・日照不足の影響により、生育状況は20府県で「やや不良」、27都道府県で「平年並み」と、すべてで「平年並み」以下となった。8月の天候次第では、1998年以来の「不作」となる恐れが出ているため、農水省は情報収集や被害防止策の周知徹底を目的とした「低温・日照不足対策関係局庁連絡会議」を設置した。(読売)

#### 7/27 福島県のモモにも影響

6月下旬から続く低温と日照不足の影響で、全国有数のモモ産地の福島県では、8月上旬から始まる主力品種「あかつき」の収穫期

を前に、品質低下や収穫量減少が懸念されている。東北農政局によると、02年の福島県のモモ収穫量は約3万2,800tで山梨県に次いで全国2位。その大半を生産している県北部の福島市と伊達郡の農協は今夏の「あかつき」について、収量が平年比1~2割減、収入で同3割減を見込んでいる。(共同)

#### 7/29 農水省が対策本部設置

農林水産省は6月下旬から続いている低温・日照不足で農産物の生育に影響が懸念されるとして、省内に太田副農相を本部長とする「低温・日照不足対策本部」を設置し、全国の地方農政局に生育管理の徹底を指示した。同様の対策本部設置は、記録的な冷害で作況指数74の大凶作となった1993年に「冷害対策本部」を設置して以来、10年ぶり。(毎日)

### 農薬

#### 7/11 ナス用混合剤は無登録

農水省は、ナスの着果促進剤として、ラン用活力剤と除草剤を混合使用する方法について、無登録農薬使用に当たると恐れがあるとして、この薬剤が流通している大阪府と三重など14県に対して業者などへの立ち入り検査を要請したと発表した。この薬剤を使った農家に対してはナスの出荷自粛を求めている。同省によると、大阪市内の農業資材業者が、「らん一番」という活力剤と除草剤を混ぜて薄めて使うとナスの着果を促進するとし、2本の液体を1,650セット(昨年)販売していた。(共同)

7/11 キュウリから禁止農薬検出  
J Aグループ新潟は、同県内の農家が生産したキュウリから、使用が禁止されている無登録農薬の有機塩素系殺虫剤ディルドリンを検出したと発表した。健康被害の報告はないという。同グループは安全確認できるまで出荷を停止。県内16のJ Aを対象に、出荷中のキュウリと作付け予定地の土壌の残留農薬を検査する。同農薬は、摂取すると頭痛や吐き気などを起こす恐れがあり、1975年に農薬登録が失効。土壌残留性が高く、特にキュウリへの吸収が高いとされ、この農家の土壌にも残留していたとみられる。(共同)

7/23 「もつと使え」と誤表示、6社の農薬15種類  
使用回数が必要以上に表記するなどとした誤表示の農薬が、少なくとも6社が製造した15種類で見つかり、農水省は全国の約240業者に対して一斉点検を指示した。誤った表示をしていたのは、日本農薬、エス・ディー・エスパイオテック、クミアイ化学工業、三共アグロ、日本化薬、住友化学工業の6社。正しい使用回数が3回なのに「5回」と表示したトマト向けの殺菌剤や、使用時期が収穫の3日前なのに「前日」と表示したレタス向けの殺菌剤などを製造・販売していた。(読売)

7/14 遺伝子組み換えで背丈低いイネ  
イネの穂の数やコメの形には影響を与えずに、背丈だけを低くする遺伝子組み換え技術を東大と名古屋大、理化学研究所などが開発し、科学誌に発表した。通常のイネは、収穫量を増やすとして肥料を多く与えると、背丈が伸び過ぎて倒れてしまうが、この技術を使った新品種なら肥料を増やしても背丈が伸びないため、最高で2割程度の収穫量の増加が期待できるといふ。(時事)

7/15 家畜排せつ物を迅速処理  
静岡大工学部の佐古猛教授は、「超臨界水」と呼ばれる高温高压の水を用いて家畜の排せつ物を迅速に処理でき、同時に発生する熱を発電に再利用する技術を開発したと発表した。近く農水省の補助を得て発電施設の実用化に向けた実験を開始する。

7/18 イネ遺伝子 3万2,000個を解読  
イネの遺伝子約3万2,000個を解読し、うち約2万8,000個についてはおおよその機能を予測することに農業生物資源研究所と理化学研究所などの研究チームが成功した。病気に強いイネづくりなどの品種改良につながる成果で、米科学誌「サイエンス」に発表した。

7/16 牛乳大腸菌 鹿児島県酪農乳業製品から検出  
鹿児島県川内市の県酪農乳業が製造した「県酪農協3・5牛乳」から大腸菌が検出された。同社は自主回収を進めている。同社によると、自社の細菌検査で13検体のうち3体が1ml当たり1〜2個の大腸菌が検出された。この商品の製造ラインは2つあるが、検出されたのは片方だけのため、パックに牛乳を注入するノズルが汚染

7/31 種牛づくりの新技術を開発 体外受精と胚分割で効率化  
広島県は県立畜産技術センターが、体外受精した牛の胚を2つに分けて遺伝的に全く同じ形質の双子の雄牛を肥育、一方を種牛とすることに成功したと発表した。県によると、この技術で生まれた種牛は全国で初めて。

7/23 03年産コメ需要869万t  
農相の諮問機関である食料・農業・農村政策審議会が食糧部会を開き、03年産米の需給見通しを立て、全体の需要量を869万tとした。02年産米と比べて約30万t少ない水準。農水省側が、平年作を前提に854万tの生産予想を示した。また同省は、政府米の在庫が適正水準の100万tを大幅に上回っており、民間在庫を加えると今年6月末時点の在庫は300万t(うち政府米163万t)であると説明した。(共同)

7/30 無人ヘリ リモコン操縦オペレーターと衝突し重傷  
佐賀県武雄市武内町真手野の水田で農業散布中の小型無人ヘリコプターが、リモコン操縦していたオペレーターの青木さんに向かって来て、青木さんが回転翼で右足を切断する重傷を負った。武雄署の調べでは、無人ヘリは長さ240cm、幅90cm、高さ1000cmで、回転翼の長さは135cm。佐賀みどり農協の所有で共同利用している。青木さんは、警戒要員など4人1で農業散布作業中だった。事故原因を調べている。(毎日)

7/17 盗難騒ぎで？ 出荷絶好調山形のサクランボ  
サクランボの高級種「佐藤錦」の盗難が相次いだ山形県で、サクランボの出荷量と出荷額が過去10年間で3番目の好成績になる見通しとなった。全農山形は「盗難は許せないが、騒ぎが話題性を提供した可能性もある」としている。好調の理由を全農山形は雨よけテントなど栽培技術の確立が考えられるとしているが「盗難の全国ニュースが勢いづけとして影響したのかも」としている。5月時点では平年並みと予想していた。(共同)

7/23 03年産コメ需要869万t  
農相の諮問機関である食料・農業・農村政策審議会が食糧部会を開き、03年産米の需給見通しを立て、全体の需要量を869万tとした。02年産米と比べて約30万t少ない水準。農水省側が、平年作を前提に854万tの生産予想を示した。また同省は、政府米の在庫が適正水準の100万tを大幅に上回っており、民間在庫を加えると今年6月末時点の在庫は300万t(うち政府米163万t)であると説明した。(共同)

7/30 無人ヘリ リモコン操縦オペレーターと衝突し重傷  
佐賀県武雄市武内町真手野の水田で農業散布中の小型無人ヘリコプターが、リモコン操縦していたオペレーターの青木さんに向かって来て、青木さんが回転翼で右足を切断する重傷を負った。武雄署の調べでは、無人ヘリは長さ240cm、幅90cm、高さ1000cmで、回転翼の長さは135cm。佐賀みどり農協の所有で共同利用している。青木さんは、警戒要員など4人1で農業散布作業中だった。事故原因を調べている。(毎日)

7/23 03年産コメ需要869万t  
農相の諮問機関である食料・農業・農村政策審議会が食糧部会を開き、03年産米の需給見通しを立て、全体の需要量を869万tとした。02年産米と比べて約30万t少ない水準。農水省側が、平年作を前提に854万tの生産予想を示した。また同省は、政府米の在庫が適正水準の100万tを大幅に上回っており、民間在庫を加えると今年6月末時点の在庫は300万t(うち政府米163万t)であると説明した。(共同)

7/30 無人ヘリ リモコン操縦オペレーターと衝突し重傷  
佐賀県武雄市武内町真手野の水田で農業散布中の小型無人ヘリコプターが、リモコン操縦していたオペレーターの青木さんに向かって来て、青木さんが回転翼で右足を切断する重傷を負った。武雄署の調べでは、無人ヘリは長さ240cm、幅90cm、高さ1000cmで、回転翼の長さは135cm。佐賀みどり農協の所有で共同利用している。青木さんは、警戒要員など4人1で農業散布作業中だった。事故原因を調べている。(毎日)

7/17 盗難騒ぎで？ 出荷絶好調山形のサクランボ  
サクランボの高級種「佐藤錦」の盗難が相次いだ山形県で、サクランボの出荷量と出荷額が過去10年間で3番目の好成績になる見通しとなった。全農山形は「盗難は許せないが、騒ぎが話題性を提供した可能性もある」としている。好調の理由を全農山形は雨よけテントなど栽培技術の確立が考えられるとしているが「盗難の全国ニュースが勢いづけとして影響したのかも」としている。5月時点では平年並みと予想していた。(共同)

7/23 03年産コメ需要869万t  
農相の諮問機関である食料・農業・農村政策審議会が食糧部会を開き、03年産米の需給見通しを立て、全体の需要量を869万tとした。02年産米と比べて約30万t少ない水準。農水省側が、平年作を前提に854万tの生産予想を示した。また同省は、政府米の在庫が適正水準の100万tを大幅に上回っており、民間在庫を加えると今年6月末時点の在庫は300万t(うち政府米163万t)であると説明した。(共同)

7/30 無人ヘリ リモコン操縦オペレーターと衝突し重傷  
佐賀県武雄市武内町真手野の水田で農業散布中の小型無人ヘリコプターが、リモコン操縦していたオペレーターの青木さんに向かって来て、青木さんが回転翼で右足を切断する重傷を負った。武雄署の調べでは、無人ヘリは長さ240cm、幅90cm、高さ1000cmで、回転翼の長さは135cm。佐賀みどり農協の所有で共同利用している。青木さんは、警戒要員など4人1で農業散布作業中だった。事故原因を調べている。(毎日)

7/23 03年産コメ需要869万t  
農相の諮問機関である食料・農業・農村政策審議会が食糧部会を開き、03年産米の需給見通しを立て、全体の需要量を869万tとした。02年産米と比べて約30万t少ない水準。農水省側が、平年作を前提に854万tの生産予想を示した。また同省は、政府米の在庫が適正水準の100万tを大幅に上回っており、民間在庫を加えると今年6月末時点の在庫は300万t(うち政府米163万t)であると説明した。(共同)

7/30 無人ヘリ リモコン操縦オペレーターと衝突し重傷  
佐賀県武雄市武内町真手野の水田で農業散布中の小型無人ヘリコプターが、リモコン操縦していたオペレーターの青木さんに向かって来て、青木さんが回転翼で右足を切断する重傷を負った。武雄署の調べでは、無人ヘリは長さ240cm、幅90cm、高さ1000cmで、回転翼の長さは135cm。佐賀みどり農協の所有で共同利用している。青木さんは、警戒要員など4人1で農業散布作業中だった。事故原因を調べている。(毎日)

9月のイベント  
●グルメリフトフェア Gourmet Gift Fair 9月25〜29日  
会場 東京ビッグサイト  
内容 加工食品と食品ギフトの専門見本市。  
主催 ビジネスガイド社  
問い合わせ 03-3843-9851  
公式サイト <http://www.griftshow.co.jp/digs/5digs/>

●外食産業フェア 9月10〜12日  
会場 インテックス大阪  
内容 業務用食材、関連商品の展示会。  
主催 日本外食食品卸協会  
問い合わせ 03-5296-7723  
公式サイト <http://www.gaijshoku.co.or.jp/>

●アグリテック2003 9月15〜18日  
会場 イスラエル見本市・コンベンションセンター(テルアビブ)  
内容 4年に1度開催される、中東地域最大規模の農業関連見本市。  
問い合わせ イスラエル大使館経済部(03-3260-0398)  
公式サイト <http://www.agritech.org.il/>

7/30 無人ヘリ リモコン操縦オペレーターと衝突し重傷  
佐賀県武雄市武内町真手野の水田で農業散布中の小型無人ヘリコプターが、リモコン操縦していたオペレーターの青木さんに向かって来て、青木さんが回転翼で右足を切断する重傷を負った。武雄署の調べでは、無人ヘリは長さ240cm、幅90cm、高さ1000cmで、回転翼の長さは135cm。佐賀みどり農協の所有で共同利用している。青木さんは、警戒要員など4人1で農業散布作業中だった。事故原因を調べている。(毎日)